

2022年度事業方針

2022年1月1日から、2022年12月31日まで（詳細は事業執行計画策定）

江戸城全体整備構想並びに江戸東京歴史文化資源等を活かした観光まちづくり

VISION 2032（以下、VISION 2032という）

これまでの活動の集大成であるVISION 2032 策定の背景は、次の六課題の活動にある。

- ① 財団設立の2017年江戸東京歴史文化ルネッサンスビジョン5カ年基本計画策定
- ② 2018年、調査活動の開始 ③ 2020年、財団設立3周年を記念して設置した第一線の気鋭の研究者やイコモス国内委員会等のアドバイザーによる「調査研究委員会」の活動
- ④ 今日的意義の検証に加えて ⑤ シンポジウム&パネルディスカッションの開催
- ⑥ 2021年、調査研究報告書の完成等の一連の集大成にある。これらの活動は現在よりも、次世代、近未来にとっても欠くことのできない基本的な視点や運動の縁や手掛かりを得ることが出来た。

世界的なコロナ禍の厳しい社会経済環境及び都市東京の歴史性が、より一層薄れつつある、一方で、SDGs並びに内外の歴史文化資源や観光をとりまく法的整備等の環境変化の下において、「江戸城全体整備構想の策定並びに江戸東京の歴史文化資源を活かした観光まちづくり」は、より視野を拡げて深化する事業と運動の共創による持続的で一体的発展に向けた構築が必要であるとの認識を深めた。

VISION 2032は東京の個々地域や其々が持てる力（点から線へ面へと向ける）の結集を目指すことでもある。下記の五課題に関係する其々の市民・自治体、行政及び関係者及び関係機関の役割使命を模索しつつ、人や組織に存在する縦ワリ意識や行動の壁は乗り越えて取組みを進められるよう提言する。当会は主体的に関係者・関係機関と共に話合う機会や場を設定する等の取組を持続的に推進する。

VISION 2032は世界が憧れる都市東京を目指し、我が国の文化・芸術の振興に並びに歴史文化資源を活かした持続可能な観光まちづくりの形成・発展に寄与することを目的として「提言」を行うものであり2022年度は新たな普及・啓発・提言活動の初年度とする準備期間として活動を展開する。

I. 世界が憧れる都市東京を目指す「VISION 2032」の主な課題

1. 江戸東京の歴史文化まちづくり中長期計画の策定：
2. プラットフォーム・江戸東京歴史文化資源等を活かした観光まちづくりへの参加：
3. SDGs持続可能な観光地域づくり法人の登録DMOを目指す組織の設置：
（DMO：観光地域づくり法人 Destination Management Marketing Organization）
4. タテワリ行政の仕組みや文化の阻害要因、規制や相続税などの税制の改革
5. 以上の課題と連動する江戸城全体整備構想策定のテーマは一旦留保するものを目指す方針は堅持し人・モノ・資金等の相応の体制が整い次第、策定活動を開始する。多くの関係者参加を提言する。

* 2022年度の「VISION 2032」の主なセミナー等(予定)

ホームページ「会の活動」をご覧ください。コロナ禍等により変更する場合があります。ご了承ください